

# 予算決算委員会（全体会）記録

[後期全体会・当初予算分]

1 日 時 令和5年3月20日（月曜日）

開 会 午後 1時07分

閉 会 午後 1時20分

2 場 所 議 場

3 出席委員 35人

委員長 高 田 重 信

副委員長 松 井 桂 将

委 員 金 岡 貴 裕

// 藤 田 克 樹

// 柏 佳 枝

// 飯 山 勝 彦

// 織 田 伸 一

// 澤 田 和 秀

// 高 原 讓

// 田 辺 裕 三

// 豊 岡 達 郎

// 吉 田 修

// 久 保 大 憲

// 松 井 邦 人

// 金 谷 幸 則

// 泉 英 之

// 岡 部 享

委 員	舍 川 智 也
//	押 田 大 祐
//	江 西 照 康
//	高 田 真 里
//	高 道 秋 彦
//	東 篤
//	大 島 満
//	谷 口 寿 一
//	成 田 光 雄
//	松 尾 茂
//	尾 上 一 彦
//	橋 本 雅 雄
//	横 野 昭
//	村 石 篤
//	佐 藤 則 寿
//	金 厚 有 豊
//	赤 星 ゆかり
//	柞 山 数 男

4 欠席委員 0人

5 地方自治法第105条の規定により出席した者

議 長 鋪 田 博 紀

## 6 職務のために出席した者

### 【議会事務局】

議事調査課長

坂口 輝之

議事調査課長代理

中山 崇

議事調査課議事係長

酒井 優

議事調査課主任

竹之内 慧

議事調査課主任

木戸 雅人

## 7 会議の概要

委員長 ただいまから、予算決算委員会を開きます。  
本日の審査日程は、お手元に配付のとおりであります。

これより、各分科会長の報告を求めます。  
まず、松井総務文教分科会長。

総務文教分科会長 総務文教分科会での審査につきまして、御報告いたします。

当分科会では、送付されました予算案件3件の審査を行いました。以下、審査の概要を申し上げます。

初めに、議案第1号中、企画管理部所管分の企画事務費及び展覧会開催事業費について、次のような意見の表明がありました。

まず、反対意見について申し上げます。

シクロシティ株式会社に支払う広告掲出に係る費用については、自転車市民共同利用システム「アヴィレ」の運営費用を支援する目的で契約が交わされているものであり、令和4年度までの支出額と令和5年度予算額の合計は、2億円余りとなる。

別の方法であれば、市内の広告事業者や障害者の方々に維持管理に関わっていただくことで、社会参加や仕事を生み出すことができ、

また、これほど多くの費用もかからないと考えることから、事業の見直しを求めるという観点からの反対意見がありました。

次に、賛成意見について申し上げます。

当該広告を設置することによるPR効果は大変大きいと考えており、これまで富山市の発展に寄与してきたガラス美術館をはじめとする各部署が、効果的なPRを検討され、契約がなされるものと考えているという観点からの賛成意見がありました。

また、議案第1号中、企画管理部所管分の官民連携推進事業費について、次のような意見の表明がありました。

まず、反対意見について申し上げます。

公共施設整備の大きな方向性として公共施設の官民連携推進体制の充実を図るとのことだが、PPP・PFI手法では、長期間にわたり事業者の利益が確保できる一方で、地域経済への影響や、本当に経費が削減できているのかを市民が詳細に検証することは難しい。この手法をこれ以上拡大する前提で推進するとの方針については、見直しを求めるという観点からの反対意見がありました。

次に、賛成意見について申し上げます。

PPP・PFI手法は、本市が先駆的に取り入れてきたものであり、これまでも学校など

いろいろな公共施設を整備してきた。

今後も検証は必要だと思うが、本市の先進的な取組は、世界からも注目されていることから、本市の特色ある事業の中でこの手法をしっかりと活用してほしいと考えるという観点からの賛成意見がありました。

次に、議案第1号中、教育委員会所管分の（仮称）水橋地区義務教育学校整備事業費の債務負担行為の設定について、次のような意見の表明がありました。

まず、反対意見について申し上げます。

作る人と食べる子どもたちがお互いに顔の見える給食こそ、本当に理想的な食育の在り方であると考えます。

また、今年の冬には、凍結が原因で給食センターが使えなくなり、一斉に何干食という給食が提供できない事態が起こったことから、危機管理の面からも、新しく造る義務教育学校には給食室を設置するべきである。

同じPFI手法により整備された芝園小学校及び芝園中学校では、つながった校舎の中で、中学生も作りたての学校給食を食べることができている。

新しく整備する学校は、子どもたちにとって最善な学校としてもらいたいことから、給食室のない設計での債務負担行為の設定には賛

成できないという観点からの、反対意見がありました。

次に、賛成意見について申し上げます。

（仮称）水橋地区義務教育学校の学校給食については、地域住民との協議の中で、給食センターからの配送でよいという御意見もあったと聞いている。

また、配送についても、十分配慮しながら実施されるものと考えることから、現在の設計のままでよいと考えるという観点からの賛成意見がありました。

次に、議案第1号中、財務部・出納課所管分の財政調整基金の積立てについて、次のような意見の表明がありました。

まず、反対意見について申し上げます。

コロナ禍や物価高騰、電気代高騰などにより生活に苦しんでいる多くの市民が厳しい思いをしている一方で、市税収入は増加している。このような状況で、財政調整基金を積み立て続けるのではなく、適宜取り崩して、市民生活を支える施策の財源として活用するべきと考えるという観点からの反対意見がありました。

次に、賛成意見について申し上げます。

世界情勢を見ていても、何が起こるか分からないという中で、財政調整基金は、本市がこ

れからも持続可能で、発展し続けるための大きな財源であることから、基金を積み立てることに何ら異存はないと考えるという観点からの賛成意見がありました。

以上、総務文教分科会の分科会長報告といたします。

委員長 ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。  
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 質疑なしと認めます。  
次に、久保厚生分科会長。

厚生分科会長 厚生分科会での審査につきまして御報告いたします。

当分科会では、送付されました予算案件7件の審査を行いました。

以下、審査の概要を申し上げます。

議案第1号中、福祉保健部所管分の中山間地域オンライン診療・服薬指導実証実験事業について申し上げます。

委員から、本事業における病院の役割として、必要に応じてコミュニティナースが個人宅を



訪問しサポートを行うとのことだが、コミュニティナースには看護師のほかどのような方が含まれるのかとの質問がありました。

これに対し、当局から、コミュニティナースは、看護師に限らず保健や福祉の分野で活躍されている方に一定の研修を受けていただくことで、コミュニティナースとして地域でも活躍していただくことを考えておりますとの答弁がありました。

また、委員から、コミュニティナースはどのように確保していくのかとの質問がありました。

これに対し、当局から、実証実験中は、おおやま病院の看護師や市の保健師に研修を受けていただくことで確保していきたいと考えておりますとの答弁がありました。

なお、全ての案件について意見の表明はありませんでした。

以上、厚生分科会の分科会長報告といたします。

委員長

ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 質疑なしと認めます。  
次に、泉経済環境分科会長。

経済環境分科会長 経済環境分科会での審査につきまして御報告いたします。  
当分科会では、送付されました予算案件7件の審査を行いました。  
以下、審査の概要を申し上げます。  
議案第1号中、農林水産部所管分の野生動物自動検出AI活用事業について申し上げます。  
委員から、AIを活用してカメラ画像から野生動物の出没を自動検出し、通報するシステムを導入することだが、近隣市町村との連携は考えているのかとの質問がありました。  
これに対し、当局から、この事業は令和3年度に県の実証事業として始まり、AIの精度を上げるために、本市を含む5つの自治体が協力しました。  
その時点ではAIの精度がまだ高くなく、動物の区別ができなかったため、令和4年度は事業化を見送りましたが、高岡市や魚津市で導入され、AIが学習する中で動物が判別できるようになってきたことや、県がバックアップしながら取り組まれているとお聞きしたことから、本市でも令和5年度から導入したいと考えたものであります。

また、試行中や検討中の自治体もあり、県内全域で導入に向けた動きがあることや、「ワンチームとやま」においても鳥獣対策に取り組んできていることから、本市でも導入し、検証していきたいと考えておりますとの答弁がありました。

なお、全ての案件について意見の表明はありませんでした。

以上、経済環境分科会の分科会長報告といたします。

委員長 ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。  
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 質疑なしと認めます。  
次に、金谷建設分科会長。

建設分科会長 建設分科会での審査につきまして、御報告いたします。  
当分科会では、送付されました予算案件6件の審査を行いました。  
以下、審査の概要を申し上げます。  
まず、議案第1号中、活力都市創造部所管分

の中央通りD北地区市街地再開発事業について申し上げます。

委員から、本事業の現状と今後の見通しはどうなっているのかとの質問がありました。

これに対し、当局から、この再開発につきましても、権利者全員の同意を得ながら進められており、令和5年2月20日には権利変換計画が県から認可され、現在は権利者等への補償金を支払う準備をされております。その補償金の支払いが終わった後に、土地の明け渡しとなるため、令和5年度中に解体を完了し、同年中に建築工事に着工されると伺っておりますとの答弁がありました。

また、別の委員から、この再開発の全体事業費は約184億円とのことだが、富山市からの補助金額は全体でどのくらいになるのかとの質問がありました。

これに対し当局から、本事業に対する補助金の総額は約76億円ですが、国や県からの補助金もあるため、そのうち、30パーセント程度が市の負担となると思われましてとの答弁がありました。

なお、全ての案件について意見の表明はありませんでした。

以上、建設分科会の分科会長報告といたします。

委員長           ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。  
                    質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長           質疑なしと認めます。  
                    以上で、質疑は終結いたしました。  
                    これより、議案第1号を起立により、採決いたします。  
                    本案件は、原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

委員長           起立多数であります。  
                    よって、本案件は、原案可決されました。  
                    次に、議案第2号から議案第20号まで、以上19件を一括して、採決いたします。  
                    各案件は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長           御異議なしと認めます。  
                    よって、各案件は原案可決されました。

これで、3月定例会の当委員会に付託されました全議案の審査は終了いたしました。

委員各位に御相談申し上げます。

委員長報告については、正・副委員長に御一任願いたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

それでは、そのように取り計らいます。

これをもって、令和5年3月定例会の予算決算委員会を閉会いたします。

令和5年3月定例会  
予算決算委員会（全体会）記録署名

委員長 高田重信

署名委員 久保大憲

署名委員 松井邦人